

7/26金・27土

神奈川県 真鶴町

貴船まつりは、
豊漁、無病息災を祈願する、
真鶴伝統の海の祭礼です。

国指定
重要無形民俗
文化財



貴船まつり



EVENT

★宵宮イベント★

【ツートン青木プロデュース】ツートン青木とゆかいな仲間たち

貴船まつり
スペシャル
ライブ

- 出演者 ツートン青木 他、真鶴ほんほんぞめ
- 日時 7月26日(金)午後7時15分から
- 会場 真鶴海岸壁広場(雨天時:まなづる小学校体育館)

※当日の天候等により会場を判断いたします。
※イベント当日は混み合いますので、公共交通機関をご利用ください。

なぶらdeないと

- 日時: 7月25日(木)午後5時~午後9時
- 会場: 真鶴海岸壁広場
- 主催: 真鶴なぶら市実行委員会



真鶴 貴船まつりの由来

今からおよそ 1,100 年前の夏、真鶴岬の三ツ石の沖合いに毎夜不思議な光が現れ、海面をこうこうと照らしていました。ある日「平井の翁」という人物が磯辺に出てはるか沖を見渡したところ、光を背にした一隻の屋形船が波間に浮かび磯辺に近づいて来るので、船内を調べると、木像 12 体と「この神をお祀りすれば村の発展がある」と記された書状がありました。そこで翁は村人と力を合わせて社を建て、村の鎮守の神としてお祀りしたのが現在の貴船神社と伝えられています。

その後、村民の間に深く信仰され、17 世紀中ごろには船に御霊をお移しして港内漁船、石船の祈祷をして回り、また神輿が 3 年に一度村内を渡御するようになり、現在の貴船まつりの起こりと言える基本形式が生まれました。

近世以降の真鶴の人々は、生活の基盤を漁業、石材採掘業、石材回漕業などにおいていましたが、当時の漁業、回漕業に使用されていた船は型の小さい帆船が多く、石材業においても現在のような機械の導入がないため、いずれも厳しい自然の中で、常に危険にさらされながらの生活でした。このような日常の苦労が、独自の技術と村落の団結力、そして篤い信仰心を高めていき、これが貴船まつりに結集され、祭りの特色を作っていました。それらは、祭りに登場する船の構造や進水、操船の方法や腕くらべ、力くらべともみられる各行事、また各部組織の結束や祭りに関する厳しいしきたりなど、随所にみられます。

古来、貴船まつりは「恩返しのみつり」と言い伝えられてきました。漁業や海運業、石材業界における大漁や安全の祈願とともに、またそれ以上に日常の安泰な活動の営みへの大なる加護に深い感謝の心を込めて、夏の真鶴の熱気をさらに高めつつ、勇壮・華麗に繰り広げられます。

これまで貴船まつりは、毎年 7 月 27 日（令和 5 年から「7 月の最終土曜日とその前」）に開催されてきましたが、令和 5 年から「7 月の最終土曜日とその前」に開催されることになりました。上記は通常開催の際の解説文となりますが「陸路渡御」になるなど上記解説文とは異なります。ご了承ください。



7月26日（金曜日）

7月26日（宵宮）の朝、東西小早船が進水し（水浮）、お仮殿前の海岸に神輿船、東西の囃子船、權伝馬とともに並び待機します。

献幣使の神輿船乗船を合図に囃子船は一斉に囃子を打ち込み、權伝馬が他の諸船を曳航し、宮前海岸に向かいます（お迎え）。海岸に到着した献幣使以下一行は、鹿島連の出迎えを受けつつ神社に向かいます。

この後神社において例大祭が行われ、祭典終了と同時に境内下で鹿島連による鹿島踊りが奉納されます。神社では発輿祭が行われ、神輿、鹿島連、神職、祭典役員等は諸船が係留されている宮前海岸に向かいます。神輿船に乗船後、再び囃子が打ち込まれ、各船はお仮殿前の海岸に向かい、一行は上陸します。

神輿は上陸後、西船揚場付近で海に入るなど（禊）の後、お仮殿に納め、仮殿祭が執り行われ、終了後、鹿島踊りが奉納されます。また、花山車は発心寺から下降し、お仮殿に納められ、宵宮の日程は終了します。

よび28日に開催されていましたが、
日」の開催に変更となりました。

今年の貴船まつりは、「海上渡御」
一部内容等が変更となりますのでご

7月27日（土曜日）

7月27日朝、花山車はお仮殿前に、鹿島連は西本祓で待機後、それぞれ同時に出発し、その中間地点ですれ違いますが（あいちがい）。鹿島連がお仮殿前に到着後、発輿祭が行われ、この後、鹿島踊り、花山車が順次奉納され、花山車、鹿島連、神輿、囃子が町内渡御をはじめます。

夕方、町内を巡った神輿がお仮殿に納まり、鹿島踊りが奉納されます。このころ、東西の小早船には舳乗り役の長老が乗船、各船には提灯に灯りがともされ出航の準備を完了しています。

お仮殿前の鹿島踊りが終わり、祭主の乗船を合図に囃子が打ち込まれ、諸船は宮前海岸に向かいます（お送り）。その後、神輿が神社に還御し、鹿島踊りの奉納で貴船まつりは完了します。



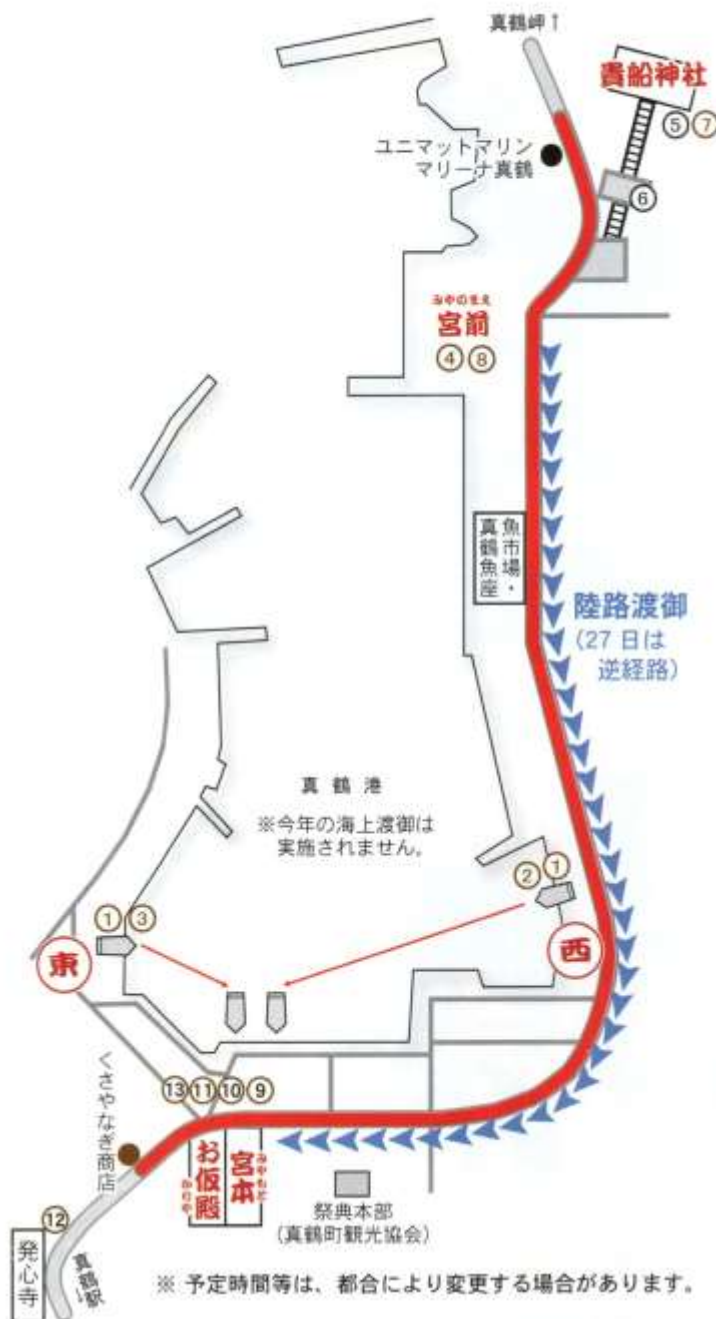
7月26日 宵宮

- | | | |
|-------------------|----------------------------|--------------|
| ① 10:00 | 西小早船舳乗迎え、乗船
東小早船舳乗迎え、乗船 | 西船揚場
東船揚場 |
| ② 10:30 | 西小早船水浮け (進水式) | 西船揚場 |
| ③ 11:10 | 東小早船水浮け (進水式) | 東船揚場 |
| ④ 12:00 | 献幣使奉迎 | 宮前岸壁 |
| ⑤ 12:10
~12:50 | 神社祭式 | 拝殿 |
| ⑥ 12:50
~13:30 | 鹿島踊り奉納 | 神社中段 |
| ⑦ 13:30
~13:40 | 神輿発輿式 | 拝殿前 |
| ⑧ 14:40 | 宮前出発・陸路渡御 | 宮前岸壁 |
| ⑨ 15:10 | 宮本到着 | お飯殿 |
| ⑩ 16:10 | 飯殿祭 | お飯殿 |
| ⑪ 16:20 | 鹿島踊り奉納 | お飯殿前 |
| ⑫ 16:30 | 花山車下降 | 発心寺 |
| ⑬ 17:30 | 花山車着納 | お飯殿 |

7月27日 陸路渡御

- | | | |
|---------|-----------|------|
| ⑨ 19:40 | 宮本出発・陸路渡御 | 奉納花火 |
| ⑧ 20:10 | 宮前到着 | |

7月27日(土)
18:00~21:00 **車両通行止め**
(許可車両以外は通行できません。)



②③ 東西の小早船が進水します。
⑦ 神輿発輿式が終わると、神輿が貴船神社の108段の階段を下ってきます。



7月27日 町内巡幸コース

鹿島連		花山車 (検視予定)	
① 8:20	西本払	① 8:20	お仮殿
② 8:30	祭典本部前	② 8:30	祭典本部前
(あいちがい)			
③ 8:35	お仮殿	③ 8:35	西本払
④ 8:45	お仮殿 (奉納)		
~9:25			
⑤ 9:30	西本払 (奉納)		
~10:20			
⑥ 10:20	西仲角 (奉納)	④ 11:10	西仲町
~10:50			
⑦ 11:15	小学校下	⑤ 11:15	小学校下
<p>以下、花山車は鹿島踊りを先行し、町内を巡幸します。</p>			
⑧⑥ 11:30	コミュニティ真鶴		
⑨⑦ 12:10	ローソン真鶴店		
⑩⑧ 13:10	真鶴駅 (奉納)		
~13:55			
⑪⑨ 14:30	町役場 (奉納)		
~14:55			
⑫⑩ 15:50	消防分署角		
⑬⑪ 16:10	小学校下		
⑭⑫ 16:20	魚伝前		
⑬ 16:30	お仮殿		
⑮ 18:50	お仮殿 (奉納)		
~19:30			
⑯ 20:30	貴船神社 (奉納)	⑫ 20:30	貴船神社 (奉納)
~21:10		~21:10	
⑰ 21:20	津島神社 (奉納)		
~22:00			

花山車は、進行表の「⑤小学校下」で鹿島踊りと合流し、「検視場」に立ち寄りながら、常に鹿島踊りを先行し、町内を巡幸します。

神輿連 (協賛)

- 神輿を担いで巡幸します。
- ① 12:30 お仮殿
 - ② 13:20 発心寺
 - ③ 13:50 情報センター真鶴
 - ④ 14:10 真鶴駅
 - ⑤ 15:00 齊藤商店
 - ⑥ 15:15 小田原百貨店
 - ⑦ 16:00 消防分署角
 - ⑧ 16:25 大店 (御霊移し)
 - ⑨ 16:55 西の神
 - ⑩ 17:30 八幡神社
 - ⑪ 18:40 お仮殿 (入御)



19:40~20:10 陸路渡御・還幸祭【奉納花火】

⑯ 20:30	貴船神社 (奉納)	⑫ 20:30	貴船神社 (奉納)
~21:10		~21:10	
⑰ 21:20	津島神社 (奉納)		
~22:00			

--- は、鹿島連 (花山車) の巡幸コース
 --- は、神輿連 (協賛) の巡幸コース

※ 神輿連は、神社本神輿、同年會神輿、役場神輿の3基が連なって巡幸します。真鶴駅から山側には巡幸しません。

※ 予定時間等は、都合により変更する場合があります。

小早船 (こばやぶね)

貴船まつりの特色は、神輿が海上渡御により村里にお出ましになる船祭りであることですが、中でも東西に華を競う小早船の存在は、祭りの花形です。

長さ 12~13m、幅 2.5mの船体に、細長い8畳ほどの屋形が組み立てられ、屋形および船の前後左右を色とりどりの装飾で隙間なく飾りたてます。

船首には「舳乗り」、船尾には船頭、櫂使い、水夫を乗せ、運航等に万全を期します。この小早船の海上渡御の神事では、観客の面前で船体を左右に大きく揺さぶりながら方向を変える姿が見どころの一つですが、船の復元力の保持や組み立てられた屋形の安全性および進水、操船の方法などに習熟した技術が要求されます。



鹿島踊り (かしまおどり)

鹿島踊りは、相模湾西岸、小田原西部から伊豆北川までのいずれも石材産出に関わった地域の 22 社で行われる神事で、悪疫退散とともに大漁や海上安全を祈願しての踊りといわれ、他市町が白装束で頭に烏帽子をかぶるのに対して、貴船まつりは浴衣姿に3色の色帯、そろいの手甲飾り、無帽です。これは昔から「小江戸」と呼ばれたほど華やかさを誇っていた地域性を反映したもので、真鶴の解放的な指向がうかがわれます。「貴船まつりは鹿島踊りに始まり、鹿島



踊りに終わる」とさえ言われるほど、祭りに密着し、見どころの一つとなっています。

櫂伝馬 (かいでんま)

海上渡御にあたり、神輿船・小早船2隻・囃子船2隻の計5隻の船を曳航する2隻の手漕ぎの大型伝馬船です。曳航には相当の力を要し、航行の途中から競漕も行われます。過去にはこの競漕で村落の東西に分かれて激しく競い合った歴史もあります。この伝馬船の操作こそ海に生きる人々の必須の技術であり、海難事故の際には神社の倉庫から小早船や櫂伝馬を出して救助活動に生かされたこともしばしばありました。



花山車 (はなだし)

18 cm角の柱の上部に造花で飾りたてた万燈型の手で持ち歩く山車で、高さ3m、重さは60 kg以上にもなります。過去には石船等の関係者が担当し、日常仕事を通じて養われた腕力を祭りを機会に披露する一種の「力くらべ」ともみられます。振り方には数種ありますが、よほど腕力のある人か、練習を積んだ人でなければ支えきれません。常に鹿島連に先行して、振りながら町内を巡行します。



真鶴囃子 (まなづるばやし)

両日にわたり、海に陸に貴船まつりをにぎやかに盛り上げるのが、この「真鶴囃子」です。

貴船まつりは古くから土地の産業体系に結びついており、役割を「漁業関係者・石材海運関係者・若人衆」で分担していましたが、「囃子」を担当していた「若人衆」に変わり、現在では町の有志による保存会が伝統の継承に努めています。



7月27日

町内巡幸コース

本神輿を車両に乗せて町内を巡幸します。

本神輿(車)、供奉車、囃子車

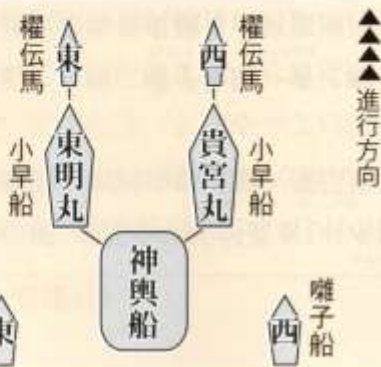
- | | |
|-----------------|----------|
| ① 9:20 | お仮殿 |
| ② 9:20 ~ 9:30 | 天神堂下 |
| ③ 9:30 ~ 10:50 | 西本祓 |
| ④ 10:50 ~ 11:00 | 魚座 |
| ⑤ 11:10 ~ 11:20 | うに清駐車場 |
| ⑥ 11:20 ~ 11:30 | ケーブル真鶴 |
| ⑦ 11:45 ~ 11:55 | 梶原駐車場 |
| ⑧ 12:25 ~ 12:35 | 中学校裏 |
| ⑨ 12:35 ~ 12:45 | 橋台入口 |
| ⑩ 12:45 ~ 12:55 | 真鶴生コン |
| ⑪ 13:00 ~ 14:00 | 真鶴駅 |
| ⑫ 14:10 ~ 14:20 | 小田原百貨店 |
| ⑬ 14:20 ~ 14:30 | 大ヶ窪 |
| ⑭ 14:30 ~ 15:00 | 町役場 |
| ⑮ 15:00 ~ 15:10 | 斉藤商店 |
| ⑯ 15:20 ~ 15:30 | 旧肉の石川 |
| ⑰ 15:30 ~ 15:40 | 西村組 |
| ⑱ 16:00 ~ 16:10 | 小学校下 |
| ⑲ 16:10 ~ 16:20 | 魚伝前 |
| ⑳ 16:25 ~ 16:45 | 本店(御霊移し) |
| ㉑ 16:55 ~ 17:05 | 西の神 |
| ㉒ 17:15 ~ 17:25 | 津島神社 |
| ㉓ 17:30 ~ 17:40 | 八幡神社 |
| ㉔ 18:05 ~ 18:40 | お仮殿 |
| ㉕ 19:40 ~ 20:10 | 陸路渡御・還幸祭 |
| ㉖ 20:30 ~ 21:10 | 神社還御 |

※「①お仮殿」〜「㉒本店」までは、車両に乗せて移動します。

※「㉒本店」から御霊を神輿連の本神輿に乗せ替え町内を担いで巡幸します。



海上渡御
航行中の
各船配置



※今年は海上渡御は行われません。

※担いで巡幸する神輿連の真鶴駅から山側⑧⑨⑩への巡幸はありません。

真鶴港周辺に駐車場はございません。

幸せをつくる 真鶴時間

Find happiness in Manazuru

神奈川県の西、ちょこんと顔を出す小さな港町、真鶴。

人々の営みは、昔のまんま。
歴史を育み、どこか懐かしく感じる風景や町並み。
人の温かみを感じられる手作りにこだわる職人さん。
近所のおばちゃんは真鶴のお母さん、おじちゃんは真鶴の物知り博士。

真鶴にもたらされる自然の恵み。
お林の恵みを受けおいしく育った魚たち。
斜面を生かして太陽をたくさん浴びた柑橘類。
町の繁栄を支えてきた町並みを彩る本小松石。
それは私たちにとってみんな宝物です。

人々の営みと自然の恵みが結びつく場所。
約束などしていないのに、惹きつけられたように集まる人々。
伝統行事「貴船まつり」をはじめ、小さな催しもそのひとつです。

素朴ですが、ゆったりとした時間の中でホッとする。
だれでも受け入れてくれる、人のぬくもり。
ちょっと町へ出ると、いつもの顔にたくさん出逢える。
“幸せをつくる真鶴時間”

※ 真鶴町観光グランドコンセプト

イベント情報

～真鶴町重要伝統文化行事～

岩見子まつり

● 7月14日(日) ● 岩地区

岩地区にある見子神社の例大祭。神輿と花山車がぶつかり合う迫力あるお祭りです。

～真鶴町重要伝統文化行事～

岩海岸夏まつり

海のまち豊漁豊作祭「真鶴夏色まつり」共同開催

● 8月3日(土) ● 岩海岸

灯籠流し、盆踊り、花火大会など、岩地区で継承されている先祖供養の夏まつりです。

マナ真鶴 ～ハワイアンタバ～

● 9月28日(土) ● お林展望公園

商工会青年部主催のフラダンスイベント。ハワイアン・フラ愛好家が大集結します！

～海のまち豊漁豊作祭～

真鶴よさこい大漁フェスティバル

● 11月9日(土) ● 真鶴港

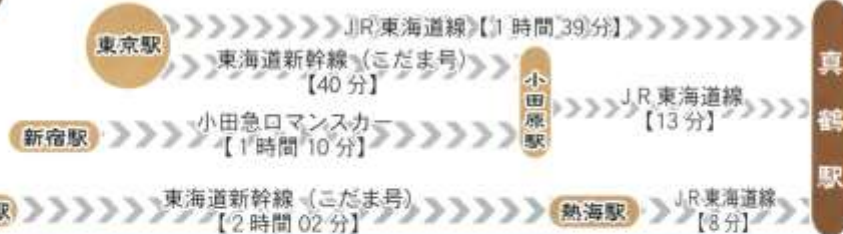
真鶴港が1日よさこい踊りで盛り上がる！海上ステージでの演舞は真鶴ならではの。

しだれ桜の宴

● 3月下旬～4月上旬 ● 荒井城址公園

商工会青年部主催のお花見イベント。

アクセス



問い合わせ

■ 貴船まつりに関するお問い合わせ
真鶴観光のご案内は…

一般社団法人 真鶴町観光協会
駅前案内所 TEL 0465-68-2500
観光協会 TEL 0465-68-2543



真鶴町観光協会
ホームページ

■ その他
真鶴町や
貴船まつりの
情報は…



真鶴町
ホームページ



貴船まつり推進本部
ホームページ